

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 1 - (2)

政策体系	施策名	グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	137
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁		

### 【 . 主な取り組み】

取組				
取組項目	挑戦意欲と責任感・使命感の育成	多様性を受け入れ協働する力の育成	大分県や日本への深い理解の促進	知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力の育成
取組				
取組項目	英語力(語学力)の育成			

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合(%)		H26	40.0	46.0	48.1	104.6%	50.0	60.0						

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	イングリッシュ・キャンプやグローバルリーダー育成塾の開催など国際交流活動への参加を促す取組のほか、留学フェアの開催や留学支援金の支給など留学機会の創出に取り組んだことにより、目標値を達成した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・留学フェアの開催(参加者235人)や留学支援金の支給(支給者27人)により、生徒が海外へ挑戦する意欲の向上と機会の充実を図った。
	・グローバルリーダー育成塾の実施(参加者699人)等により、生徒が文化や価値観の異なる様々な人々と協働して課題研究などに取り組む機会を設け、グローバル人材に必要な資質能力の育成を図った。
	・ふるさとの先人と歴史について学習する「子ども先哲歴史講座」を開催(受講者407人)した。 ・国際社会で活躍した大分県ゆかりの先哲を英文で紹介する教材を作成し、アジアへの修学旅行や海外高校生とのラグビー集会など、海外の子どもたちと交流する場面で活用した。
	・小・中学校において「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の魅力ある授業の創造を目指し、「新大分スタンダード」による授業改善を推進した。 ・「学びに向かう学校」づくり中核校(中学校11校)において学校改善の取組を進め、その成果の普及を図った。
	・「大分県英語教育改善推進プラン」に基づき、中学校においてCAN-DOリストの作成を進めるとともに、小学校英語の教科化に向けた移行措置に伴う新教材を活用した授業イメージの普及のため、モデル授業の動画配信や小学校教員の指導力向上のための研修を実施した。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	グローバル人材育成推進事業	23,947	A	継続・見直し	258

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>平成29年度第15回大分県教育委員会(H29.11) ・高校生サミット(グローバルリーダー育成塾)では、英語での協議が予定されているが、こうした活動に慣れてくると、大きな大会等でも人前で話すときに億劫がらずにできるようになる。とても素晴らしい取組だと思う。</p>	
---	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の海外への更なる挑戦意欲を喚起するため、グローバルリーダーに必要な資質・能力を育成するセミナーやイングリッシュ・デイ・キャンプを開催するなど、グローバルに活躍する人材に触れる機会の充実を図る。</li> <li>・Web会議システムの導入等により、県立高校と海外高校との継続的な学校間交流を支援していく。</li> <li>・県内在住の留学生等を国際交流サポーター等として活用しながら、グローバル人材に必要な多様性を受け入れ、協働する力を育成する。</li> <li>・国際社会で活躍した郷土の先人に関する教材を海外姉妹校との交流等で積極的に活用し、郷土や本県についてのプレゼンテーション機会を充実するなど、グローバル人材の素地となる郷土への深い理解や論理的に考える力の育成を図る。</li> <li>・学習指導要領の改訂に伴うH32年度からの小学校英語の教科化に対応するため、小学校教員の英語指導力向上に向けた研修等を行い、新教育課程の円滑な実施を図る。</li> </ul>